

令和2年(2020-2021)年度 9月度 商工会理事委員会 議事録

日 時: 令和3年(2021年)9月22日(水) 13:00 ~ 14:15

場 所: 各参加者拠点からの Web 及び電話会議

出席者: 名誉会長、理事委員 20 名、正会員 1 名、事務局長

欠席者: 理事委員 1 名(会長委任 1 名)

司 会: 酒井一宏 幹事

1. 商工会会長連絡 (相澤 稔 会長)

①週末開催されたテキサス会は幸い好天に恵まれ、関係者のご尽力により成功裏に開催されたが、ハリケーン・シーズンはまだ続いている。9月14日にヒューストンの西から上陸したハリケーン・ニコラスはカテゴリー1であったが、一部の地域においては停電などの被害が出た。その後も小さなハリケーンが次々と発生、アフリカの沖合には更に大型の低気圧が控えている。今後も予報に注意しながら事前準備を積極的に進めていく必要がある。また、8月29日にルイジアナに上陸したハリケーン・アイダは、その後 NY まで移動し大きな被害をもたらしたほか、メキシコ湾岸の石油・天然ガス生産施設や化学プラントなどにも被害をもたらした結果、石油・天然ガスの備蓄量が低くなり、価格にも影響を及ぼしている。

②昨日から始まった国連総会では、やはり脱炭素化、気候変動対応が COVID-19 に並んで非常に大きなアジェンダとして挙げられている。テキサス州という観点からすると、石油とガスの街でありながらも、風力に関しても断トツの第一位であったり、先週発表されたテキサス最大の原油生産者である Pioneer Natural Resource による Sustainability Report においても、CO2 発生量削減やメタン漏洩防止につき、非常に積極的に取り組んでいることが記されている。但し、ネットゼロの目標と比較するとまだギャップがあることも事実であり、ヒューストンのビジネスにこれらの課題がどのように影響を与え展開していくのか、今後も注視していく必要がある。

③明るい話題として、8月下旬から NFL やカレッジフットボールが開幕し、大観衆が入るようなスタジアムで行われる非常に躍動的で迫力のある試合を楽しむことができるようになってきた。このように街がオープンになり活気を取り戻す反面、COVID-19 の感染に関しては入院者数や死者数が高止まりしており、ハリス郡の Threat Level も未だ Red となっているため、引き続き予防対策には注意が必要である。補習校の方でも 9 月からようやく対面授業が再開され、先生や友達と直接会うことができるようになった喜びの声を聞いている。感染防止に向けて準備・運営をしてくださっている井手校長や伊藤委員長を始めとする運営委員、関係者の皆様にあらためて御礼申し上げる。

2. 総領事館連絡 (福島秀夫 総領事)

①日本政府による水際措置が緩和され、これまでテキサス州に居住・滞在されている方が日本に入国される際、ホテルなど検疫所長の指定する場所で 3 日間の待機が求められてきたが、9月20日以降、同措置は解除されることとなった。入国後 14 日間の自宅等での待機については今のところは引き続き必要となるが、この待機期間についても縮減の方向で現在、見直しが行われていると聞いている。

②日本政府はすでに7月末からワクチン接種証明書、いわゆるワクチンパスポートの申請と発行を開始している。これは日本国民の海外渡航時の利用を想定しているもので、これを示すことで入国時の隔離などの防疫措置が軽減される諸外国が増えているため導入された。但し、日本自身については周知の通り、現段階ではワクチン接種済みだからといって隔離が軽減されることにはなっていない。一方、米国については現状ではそうした証明の提示は必要とされていないが、近く11月初めから入国時にワクチン接種証明が必要とされることとなる旨、今週発表があった。こうしたウィズコロナの流れのなかで、我々在留邦人の大半が受けている米国内での接種とその証明である CDC 発行のワクチンカードの扱いがどのようになるか、注目している。感染対策と両立しつつも、接種した場所を問わずワクチン接種が証明されればその分、人の移動と経済活動がより容易になるような規制緩和が望ましいと考えられる。

③総領事としては約3年3ヶ月という長めの任期に恵まれ、その任務を全うできたのはひとえに日本商工会を始めとした当地の日本コミュニティ、日米交流関係者、そして地元コミュニティの方々からの温かいご支援や励ましがあつたからであり、あらためて深く感謝申し上げます。この3年余り、日本とヒューストンおよびテキサスとの様々な関係をさらにたくし前進させるためにできる限りの努力をしてきた。なかでも経済・ビジネス関係については、ここ数年での当地における日系企業の躍進ぶりは目を見張るような勢いがあり、コロナ禍の影響があつたにもかかわらず今や日本はテキサスにとって外国投資額も貿易額も第4位と主要なパートナーの地位を築いている。そうしたなかで、当地の日系企業がテキサスとの共進共栄という同じ方向を向いて歩んで行けるよう、連帯感を醸成してくれる商工会の役割は大きなものがある。来年には2年ぶりにジャパンフェスティバルも復活し、また日本庭園30周年やヒューストン千葉姉妹都市50周年も控えている。これらの機運に乗って、当地の日本人や日系企業が引き続き地元ヒューストンの発展に貢献しコミュニティに愛されるよう、長い歴史と伝統をもつヒューストン日本商工会がこれからもリーダーシップを発揮されていくことを祈念する。総領事館および日本政府としてご厚情とパートナーシップにあらためて感謝申し上げて離任のご挨拶とさせていただきます。

3. 幹事報告 (酒井一宏 幹事)

①今後の会議とイベント開催について

次年度の会議体については足元のコロナ感染状況を確認しつつ新会長ならびに理事委員会の皆様と協議の上、開催方法等を検討していく。10月度常任委員会については、前年度と同様にメールによる書面決議を10月27日(水)の午前中に配信し、総会については同日15:00よりWeb会議、それに引き続き懇親会も同Web上にてBreakout Roomを活用する形で開催することを予定している。詳細については、後日、事務局よりご案内させていただきます。

②次期特命理事・委員長任命

定款第五条第三項及び第五項に基づき、川上次期会長が6名の委員長(うち1名が副会長兼任)と特命理事4名を任命した。(詳細は、「2021-2022年度商工会組織図」を参照。)

③次期企画・調査委員長による次期部会長の任命

定款第五条第三項に基づき、桜内次期企画・調査委員長が各部会に推薦された次期部会長5名を任命した。(詳細は、「2021-2022年度商工会組織図」を参照。)

4. 会計幹事報告 (沖 隆士 会計幹事)

①2020-2021年度 JBAH の決算着地見込みについて

第一次修正予算ではバーチャル・ウォーキング大会の経費と寒波救済基金への寄付を計上して理事委員会の承認を受けていたが、目標額を超える寄付が会員より寄せられたため商工会からの持ち出しはゼロとなり、メールにてすでにご報告の通り、当該修正予算案は通り取り下げられた。よって、本着地見込みは年度当初の予算を比較対象としており、約1万ドルの黒字収支の予算に対し、約6万ドルの黒字で着地することを見込んでいる。幸い会費収入は予想ほど減少せず、イベントについては収入とほぼ同額の経費の支出を計上していることから、収支に大きな影響はなかった。また、支出面では、コロナ禍により通年で対面によるイベントや活動の多くが休止状態であることから、新規イベントのバーチャル・ウォーキング大会の商工会持ち出し分(約3千ドル)を除いては諸経費が減少し、予算未消化となっている。バランスの64万ドルは支出合計の約1.9倍で余裕のある額となっており、次年度以降にこのベネフィットをどのように会員に還元していくかを検討することが課題となる。

②2020-2021年度 JBA Houston Foundation の決算着地見込みについて

同ファウンデーションの収入は主に会員による寄付で成り立っており、支出は主に補習校と地域コミュニティへの支援金となっている。今年度は、寒波救済基金への寄付(\$27,500)を実施したことが収入と支出の両側に新しい項目として記されている。コミュニティからの寄付依頼が少なかったこと等により生じた予算未消化により、当期収支は約7千ドルの黒字を見込んでいる。

5. 日本庭園・他団体対応関連報告 (名川 譲 日本庭園・他団体対応担当特命理事)

以下の他団体イベントが開催されるにあたり、会員の皆様にはぜひご参加・ご支援いただきたい。尚、いずれのイベントも今後の感染状況を確認しつつ、場合によっては開催形式等を変更する可能性がある。

①日米協会主催イベント

***2021 Texas-Japan Business Leaders Roundtable**

テキサス州と日本の産業界リーダーに対する新たなビジネス機会やイノベーションへつなげる交流の場(オンライン)を提供することを目的とし、同ビジネス経営層向けセミナーを月例のイベントとして7月より開始している。第4回のセミナーには、ワクチンを製造しているFuji Film Diosynth Biotechnologies よりGerry Farrell (COO Dr.)を講師としてお迎えする予定となっている。

***53周年記念イベントGALA (Fund Raising)**

11月2日(火)にヒューストン・トヨタセンターを会場として、GALAを開催する予定である。同イベントは、日米協会の活動資金の大半を確保するために重要な位置づけとなっているため、皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

***日本庭園清掃**

秋に恒例となっているハーマンパーク内の日本庭園の清掃は、11月の土曜日(午前)に予定している。ボランティア募集については日程が確定次第ご案内するので、是非ご協力いただきたい。

②日本人会主催 「コロナでも頑張ったあなたへ！」

同イベントは、10月10日午後2~5時にAsia Society Texas Centerにて開催され、現場医師によるコロナ最前線情報の講演や日本人会芸術家の復活公演、日本レストランによる特製料理・飲み物の提供などを予定している。会場への in-person での参加(先着申し込み順 250名)はすでに売り切れとなっているが、生配信による Web 上での参加は人数制限がなく引き続き受付中で、参加費は無料となっている。日本人会の[予約サイト](#)にてお申込みを受け付けているので、ぜひご参加いただきたい。

6. 委員会・部会関連事項

①企画・調査委員会 (桜内政大 企画・調査委員長)

*** Webinar 開催結果報告**

9月中に下記の2つの Webinar を開催し、参加者による満足度評価では上位95%前後の高い評価を得た。

9月9日(木) 「組織を変える対話を起こす ~ポストコロナ時代におけるリーダー開発とは~」

講師: 鈴木義幸氏 (株式会社コーチ・エィ代表取締役社長)

9月17日(金): 「バイデン政権のこれまでと今後 -政治・経済政策の見どころ-

講師: 磯部真一氏 (ジェトロニューヨーク事務所 調査担当ディレクター)

*** テキサス経済概況の改訂について**

テキサス経済概況は、総領事館とJETRO ヒューストン事務所の協力により、隔年で全面改訂作業を行っている。今年は、全面改定を実施する年となっており、政治経済については総領事館が、その他の箇所はJETRO が担当し、今期末の完成を目指して鋭意作業中である。改訂版が完成次第、商工会ホームページ上での公開につき事務局より皆様にご案内するので、ぜひご活用いただきたい。

②教育委員会 (伊藤嘉則 教育委員長)

*** 日本語補習校関連報告**

補習校では、PTA や運営委員会、商工会関係者と数ヶ月に亘り議論を重ねた結果、9月4日から対面授業を無事再開した。現状では数名感染者が出ているが、ガイドラインに基づき感染者が確認された学級は1週間リモートに切り替えることで対応しており、大きな混乱もなく順調に進んでいる。一方で、運動会や工場見学などの年内行事については、コロナの状況を踏まえて基本的には休止としている。

③スポーツ委員会

*** 第570回テキサス会ゴルフ「合同杯」開催結果報告 (頼 英彦 物資・化学品部会長)**

9月19日(日) Oakhurst Golf Club にて日本人会と共催のテキサス会ゴルフコンペを今期の「商工会会長杯」、「総領事杯」、「ユナイテッド杯」を合わせた「合同杯」として無事開催し、93名の皆様にご参加いただいた。プレー終了後にはゴルフ場のバルコニーにて表彰式を実施し、福島総領事、相澤商工会会長、武智日本人会会長からご挨拶頂いた。多くの賞品の寄付にご協力いただいた皆様には、厚く御礼申し上げます。

④広報委員会（稲田徳弘 広報委員長）

*次年度の理事委員によるビジネス記事寄稿と編集委員派遣について

広報誌「ガルフストリーム」の編集において駐在員の編集委員が不足しているため、理事委員の所属企業を対象にボランティアを募集したが、8月末においても応募がなかった。このため、来期より会長企業からのサポート1名及び、テキサス会等の担当を持っていない部会長所属企業2社より、編集委員各1名を派遣して頂く方向で派遣元と相談する。また、理事委員によるビジネス記事の寄稿については、今年度に引き続き、別紙のリストに従い、駐在員視点の誌面作りを継続するため引き続きご協力を頂きたい。具体的には、ご担当各社と相談する。

⑤生活・情報委員会

*第2回古本市開催結果報告（根本真樹子 生活・情報委員長）

9月18日(土)10:00~18:00、三水会センター会議室にて今年度第2回目の古本市を完全予約制で開催し、200名の皆様にご来場いただいた。感染予防対策として、検温やマスク着用、手先消毒などにご協力いただき、滞在時間は一組につき30分とした。今回の収益は寄付も含め\$1,394となり、生活・情報委員会傘下のボランティアグループの活動費、図書館の書籍およびキッズルームの備品購入等に充てる予定である。クレメンツ・ハイスクールの生徒16名も含め、ボランティアの皆様にはご協力に感謝申し上げます。

7. 事務局関連事項（小林浩子 事務局長）

①2021-2022年度 会議・行事予定について

次年度の会議と年間行事予定表は、近日中に商工会ホームページに掲載する予定となっている。コロナ禍のため、今後のイベントや会議等の日程や開催形式については、引き続き足元の感染状況を確認しつつ変更する可能性があるため、予めご了承いただきたい。

②会員名簿のアンケート結果について

次年度の名簿作成に向け、関係者のご意向を踏まえた上で電子化や記載内容の変更につき検討するため、8月26日~9月10日の期間に会員名簿に関するアンケートを実施した。対象は、名誉会長、常任委員111名、準会員47名(計159名)で、77名の皆様にご回答いただき、ご協力に感謝申し上げます。電子化に賛成する意見は82%となり、利便性や更新による最新情報の入手が主な理由として挙げられた。一方、反対意見については、情報漏洩に関する懸念が主な理由となっている。また、掲載内容については、現状維持を希望する意見が83%となっており、その主な理由は会員個人の連絡先が会員間のコミュニケーションに有用であることであった。これらの結果に基づき、次年度の名簿改訂については、電子化した会員名簿を商工会ホームページの「会員専用ページ」に掲載し、記載内容については現状維持で進めることとする。尚、電子ファイルの掲載にあたりパスワードを設定するなどのセキュリティー対策を行い、会員の氏名以外の個人情報(メールアドレスと電話番号)についての掲載は、従来通り任意とする。

③会員消息

本日現在の会員数は、名誉会員10名、正個人会員722名(正団体会員数:111社)、準会員47名で、総会員数は779名となっている。

以上。